

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 阪東橋教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室スペースとの関係で適切であるか	建築基準法に基づき、限られた空間の中で事故や怪我がないよう配慮しながら行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	配置加算を採用しているため、常時指導員は3名以上の体制となっており、しっかりサポートできる配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	終業ミーティング時にその日あったことを共有し、業務改善に向けて話し合いをしている。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様からのご意見を真摯に受け止め、職員同士で共有し業務改善につなげている。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2022年度から行っていく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っておらず、今後必要に応じ検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	興味や必要に応じて外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は運動面など適宜行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	現在標準化されたアセスメントツールは存在しないため、今後作成し、運用していく予定。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 阪東橋教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
適切な支援の提供	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	子ども一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動（自立支援・日常生活の充実のための活動等）を複数合わせて行っている。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	計画を作成する際も、すべての職員が参加しており、その支援についても意思統一を図っている。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	児発管と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っている。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	その日のお子様の心情に合わせて柔軟に進めている
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行い、子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を聴取し行っている。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出し、ミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援終了後に必ず打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出している。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録にも記入し、検証している。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的（6ヶ月ごと）に保護者と面談を行っている。それに合わせ、児発管、指導員でミーティングを行い計画の見直しの必要性を判断している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	相談支援事業所と電話でのやり取りを行っている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 阪東橋教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
関係機関や保護者との連携	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	直接の連携は行っていないが、保護者からの要望に応じる形で、情報の共有など連携できる体制は整えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	医療的ケアが必要なお子様は通所されていない。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合を受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要なお子様は通所されていない。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	保護者様からの相談があれば検討していく。
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	保護者様からの相談があれば検討していく。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	ZOOMにて区市町村が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、その中で積極的に情報収集を行っている。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく、実施していない。今後ご希望があれば検討していく予定。
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	現在は行っていないが、必要に応じて検討していく予定。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	現在は行っていないが、必要に応じて検討していく予定。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 阪東橋教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	定期的（6ヶ月ごと）に保護者の方と面談を行い、支援計画の説明と同意を頂いている。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎回、指導員や児発管が声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在は行っていないが、必要に応じて検討していく予定。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	現在は契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応しているつもりであるが、必要に応じて、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口の設置を検討していく。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	口頭での連絡が多いが、必要な場合は紙面での伝達を行っている。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	個人情報と思われる資料はシュレッダーを掛け、カギ付き書庫の中に保管している。PC等からの個人情報へのアクセスについても、セキュリティソフトを導入して対応している。
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要に応じて、重要事項は文書として渡すなどの配慮を行っている。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在は行っていないため、今後必要に応じて検討していく予定。
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	緊急時対応マニュアルと感染症マニュアルを作成し、定期的に事業所内で研修等を実施している。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 阪東橋教室

		チェック項目	改善目標や工夫している点
非常時等の対応	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回実施している。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	契約の際に提出していただくフェイスシートにて確認しており、スタッフ間で情報の共有をしている。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約時に確認を行っている。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度記録し、全職員で映像を見返して共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	定期的に事業所内で虐待防止の研修を行っている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	身体拘束同意書を用いて説明、同意をいただき、個別支援計画に記載している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 阪東橋教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	0	0	子供の数に対して十分なスペースが確保されています。	今後もこういった保護者の期待を感じて職務を務める。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1	0	1	普段の生活では気づかなかった特性を教えていただくことが多くありました。	今後もこういった保護者の期待を感じて職務を務める。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	0	0	整理整頓がされていると思います。余計なものがなく、気が散ることも少ないと思います。	今後もこういった保護者の期待を感じて職務を務める。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13	0	0	0	しっかりとニーズを確認していただいていると思います。	今後もこういった保護者の期待を感じて職務を務める。
	5	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	1	0	1	児童発達支援計画では細かな部分も記載してくださりわかりやすいです。	今後もこういった保護者の期待を感じて職務を務める。
	6	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	0	0	苦手な運動への挑戦、状況理解、友達との関わりを増やして下さっています。	今後もこういった保護者の期待を感じて職務を務める。
	7	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	0	0	1	季節のイベントなどもあり、時間も13時で設定して下さっているので嬉しいです。	今後もイベントを継続的に企画していく予定。
	8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	0	5	6	・全くありません。 ・普段保育園で障害のないお子様と関わっているので問題はない。	今後もそのような機会を作る予定はない。
	9	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0	規定・負担ともにしっかりと説明していただきました。	今後もこういった保護者の期待を感じて職務を務める。

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 阪東橋教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	0	0	1	夫に説明して下さったので直接伺ったわけではないですが、文章でしっかりと書いて下さったので、課題がわかりやすかったです。	保護者の期待を感じて今後も職務を務める。
	11	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	1	2	5	全くありません。あれば助かります。	必要性があれば検討していく。
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	11	2	0	0	先生から教室での様子を伺うことはありますが、こちらからお伝えする機会が少ないかと思います。	FB時にお子様のご様子もヒアリングする等務め、情報共有を行っていく。
	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	1	3	面談だけでなく、クラス後の忙しい時間の時にも毎回のよう助言をいただいております。	保護者の期待を感じて今後も職務を務める。
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	4	6	必要ないと思う。	今後もそのような機会を作る予定はない。
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	0	0	2	子供の対応で困ったときに全体で共有をしてくださり、まとめて助言をして下さったので良かったです。	保護者の期待を感じて今後も職務を務める。
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	0	0	1	LINEで情報伝達をしてくださるので、便利でありがたいです。	今後もLINEを使用し、情報伝達を行っていく。
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	0	1	7	毎日の活動の様子や写真等、HPなどで公開してくださるとありがたいです。	今後、公開する予定はないが、検討していく。
18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10	0	0	3			

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 阪東橋教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6	0	2	5		
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	0	0	5	避難訓練は行われていますが、頻度はわかりません。	避難訓練実施前にラインにて周知を行っている。今後も事前にお知らせする予定。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	1	毎週、楽しみにしています。いつもありがとうございます。	保護者の期待を感じて今後も職務を務める。
	22	事業所の支援に満足しているか	11	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスを希望します。 ・タクミに通いだしてから行動面で落ち着きが出ており、日常生活も楽になりました。保育園での生活もうまくいっており、本当に感謝しております。 ・運動会ではとっても走り方がきれいで速かったため、タクミでのご指導のおかげだと思っております。まだまだ課題は多く残るかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の期待を感じて今後も職務を務める。 ・より良い時間・療育を提供できるよう、職員一同励みたいと思う。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 阪東橋教室

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	建築基準法に基づき、限られた空間の中で事故や怪我がないように配慮しながら行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	配置加算を採用しているので、常時指導員は3名以上の体制となっており、しっかりサポートできる配置を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	終業ミーティング時にその日あったことを共有し、業務改善に向けて話し合いをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	保護者様からのご意見を真摯に受け止め、職員同士で共有し業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2022年度から行っていく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	現在第三者による外部評価は行っていないが、今後必要に応じ検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	興味や必要に応じて外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は運動面など適宜行っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	現在標準化されたアセスメントツールは存在しないため、今後作成し、運用していく予定。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	ミーティング等でどのようなプログラムを行うか話し合いをしている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 阪東橋教室

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	その日の子どもの心情に合わせて柔軟に進めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	当事業所は休日も通常開所しており、サービス提供は平日と特段変わりがないため、基本的には同じ内容で実施しているが、長期休暇には特別プログラムを実施していく予定。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行い、子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を児発管、指導員、保護者、子どもの意見を聴取し行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援開始前に支援内容に合わせて役割分担をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	終業ミーティングで本日の様子を振り返り、次回に向けて情報共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録にも記入し、検証している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	定期的（6ヶ月ごと）に保護者の方と面談を行っている。それに合わせ、児発管、指導員でミーティングを行い計画の見直しの必要性を判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	子ども一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動（自立支援・日常生活の充実のための活動等）を複数合わせて行っている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児相談支援事業所と電話でのやり取りを行っている。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	送迎がないため、保護者と毎回送迎時に情報共有を行っている。	
㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	当事業所には医療的ケアの必要なお子様は通所していない。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 阪東橋教室

		チェック項目	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	現在は、就学前の各園との情報共有等は行っていない。必要に応じて検討していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	現在障害福祉サービス事業所等へ移行する児童はいないが、その必要があれば、資料を提供できる体制は整っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	区市町村が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、その中で積極的に情報収集を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。また保護者からも必要との声が聞こえてこないため、今後必要性を検討していく。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	現在は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	現在は行っていないが、必要に応じて検討していく。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	毎回、指導員や児発管が声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	現在は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	現在は契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応しているが、必要に応じて、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口の設置を検討していく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2022年度

事業所名 阪東橋教室

	チェック項目	改善目標、工夫している点など
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	口頭での連絡が多いが、必要な場合は紙面での伝達を行っている。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	個人情報と思われる資料はシュレッダーを掛け、カギ付き書庫の中に保管している。PC等からの個人情報へのアクセスについても、セキュリティソフトを導入して対応している。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要に応じて、重要事項は文書として渡すなどの配慮を行っている。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	現在特にしていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	緊急時対応マニュアルと感染症マニュアルを作成し、定期的に事業所内で研修等を実施している。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回実施している。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	定期的に研修機会を設け実施している。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束同意書を用いて説明、同意をいただいております、個別支援計画に記載している。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約の際に提出していただくフェイスシートにて確認しており、スタッフ間で情報の共有をしている。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	その都度記録し、全職員で映像での振り返りなどで共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。

保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 阪東橋教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

	チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	2	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	3	0	5		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	13	1	0	1		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	14	0	0	1	口頭では説明してもらえが、今月は〇〇を強化、今週は〇〇を重点的になど、やることを書いた計画表みたいなものが欲しい。	現在イベントウィークとして、LINEにて周知している。今後、月単位で課題（今月の目標）を設定し、保護者がより活動内容をわかりやすくするため、ライン・張り紙等で周知していく予定。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	5	4	3		
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	1	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1	0	0	子育てをされている、支援員の方もいて参考になる話が聞けるのでうれしいです。	今後もこういった保護者の期待を感じて職務を務める。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	4	5	3	同じ回の保護者の人数もそんなにいないのでモニタリングを一緒にする等、交流があってもいいのかなと思います。	モニタリングのスペースが限られているため、現状難しい。今後も交流の機会を作る予定はない。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	0	0	4		

保護者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

事業所名： TAKUMI 阪東橋教室

2022年度期

A：はい B：どちらともいえない C：いいえ D：わからない

		チェック項目	A	B	C	D	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	3	0	0	LINEでのご連絡ができてとても助かっています。	今後もLINEにて情報の共有を行っていく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	4	1	4	なわとびやリズムジャンプなどのイベントを行っていただく事とてもいいと思います。まだ参加できていないので継続して行ってほしいと思いました。	継続的にイベントを行っていく予定。
	14	個人情報に十分注意しているか	13	1	0	1		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	1	0	0		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2	0	1		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13	1	1	0	楽しく通わせていただいています。	今後もより良い教室づくりに努めていく。
	18	事業所の支援に満足しているか	14	1	0	0	支援員の方は専門性が高く、適切な声掛けがあるので本人も楽しく運動することができています。	今後も保護者の期待に応えられるよう職員一同努めていく。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。